

令和5年度  
事業計画書

令和5年3月  
一般財団法人 西日本産業衛生会

## <はじめに>

令和4年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済社会活動の活性化のバランスを慎重に見極めながら行動制限の解除等により、漸次個人消費を中心に景気は回復基調に転じてまいりました。今後も新年度に入れば新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを季節性インフルエンザと同じ「5類」への引き下げの事による更なる経済活性化が期待されることやコロナ禍で積みあがった貯蓄を源泉にリベンジ消費が期待されること、インバウンドの復活などから、個人消費の増加傾向は維持されると見込まれますが、一方では、新たな変異株による感染再拡大、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、円安による物価高など景気の下振れリスクが高まる懸念は多々あり、今後の情勢は不透明と言わざるを得ません。

かかる中当財団は、感染対策に万全の体制を取りながら質の充実を図り競合他機関との差別化を目指し、事業展開を行ってまいりました。昨年度末には進和興産(株)より大分労働衛生管理センターの土地建物を譲受、また、福岡健診診療所の増床等更なる体制強化が図られました。全般的には、with コロナを前提に危機感を持って対応した結果、令和4年度については、概ね各施設において計画及び前年比において目標達成できる状況になってまいりました。関係各位の皆様には厚く感謝申し上げます。

令和5年度は、量の確保は当然のことながら、職員が意欲を以って働ける職場を構築するために労務環境の改善や研修制度の充実により職員のスキルアップを図り、更にCS・ESの向上に取り組む事により競合他機関との差別化を目指し、安定的に業務利益を達成できる体制強化に役職員一丸となって取り組みます。

少子高齢化に伴う労働人口が減少する中、今後は当財団にとって厳しい事業環境が予想されます。引き続き持続的成長を続けるためには、職員一人一人が変化を敏感に捉え、市場環境の変化に対し柔軟に対応できるよう、常に向上心をもって取り組む必要があります。

令和5年度を迎えるにあたり、下記の方針に沿って事業の遂行に努めます。

#### <基本方針>

「信頼・協調・貢献」の基本理念のもと、「疾病予防、健康維持・増進を通じて、勤労者とその家族並びに地域住民の健康づくりに資することにより、健康で活力のある社会の実現に貢献する」ことを当財団の目的として掲げ、その実現に向けていかなる環境の変化にも対応できる強靱かつ柔軟な組織・体制の構築を目指します。

#### <重点方針>

1. 健診・産業保健・環境測定すべてに亘る精度の維持向上と標準化（CSの向上促進）
2. 将来を担う人材確保・育成のため、職員満足度の向上（ESの向上促進）
3. 「労働生産性」の向上を目的として、業務の標準化・効率化の推進
4. 事業が安定的に継続できることを目的とした計画・実行の推進
5. 安定した収益力の確保と新たな収益源の検討

#### <各事業における具体的推進計画>

（計数計画については別表（5～7頁）の通りです）

##### （公益事業）

##### （1）産業保健事業

全国有数の活動実績を持つ産業保健事業は当財団の特色であり、今後とも当財団「公益事業」の中核を成す事業として推進してまいります。令和4年度は、6事業所と新たな契約を結ぶことができました。

産業保健を取り巻く環境は他の事業と同様、常に変化しております。健診では単に受診するのみでなく健診を受けた後の保健指導を強化する流れがあります。事業場様、健康保険組合様は近年データヘルス計画に取り組みつつ、より健康増進・疾病予防に繋がる健診のあり方や保健指導、特定保健指導の見直しを考えられています。

また、過重労働・メンタルヘルスの対応も年々増えています。平成26年の労働安全衛生法の改正に伴い、ストレスチェック制度が平成27年12月より施行され、平成28年6月には化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。

これらの変化に対応するためには人財の確保と一層の教育が欠かせません。特に産業医は全国的な医師不足で困難な状況ではありますが確保に努め、本年度も地域の皆様の職場環境向上のため、可能な限り貢献してまいります。

##### （2）健康情報発信 他

- ①平成23年度より創刊し、当財団の健康情報誌と位置づけている「あんしん通信」は、平成30年度より紙面を刷新するとともにタイトルも「まもる」に変更し、北九州版・福岡版・大分版に分けて、年間19.5万部発刊します。より

充実した内容で有用な健康情報を提供し健康管理の高揚に努めます。

- ②健康および労働環境に関するセミナー等を通じて、周辺企業および住民の健康に関する普及啓発活動を行い、広く健診の受診を勧奨してまいります。
- ③健康診断結果を集計し、分析・発表することにより、広く健康管理の重要性を訴えてまいります。「事業年報」の刊行を継続するとともに、更なる内容の充実を目指してまいります。
- ④令和3年度より発足しました、健康企業研究会「東田塾」は北九州・福岡・大分の地場企業を中心に93社様に参加いただき、産業医科大学様のご協力を得て延べ9回開催することができました。

## (収益事業)

### (1) 健康診断

当財団の基幹事業であり、今年度も最重要事項として計画の遂行に取り組みます。経済環境が不透明な中、受診者の増加は限定的であろうと推察されますが、当財団としては、引き続き受診率の向上を目指しながら、皆様に満足頂ける質の高いサービスを提供してまいります。令和4年度は、延べ50万人の受診者総数となりました。(事業の概要は、P5以下をご参照ください)

#### ① 一般健診及び特殊健診

法的に義務付けられている基本的な健診である一般健診(定期健康診断・雇入れ時健康診断)および特殊健診については、引き続き地域に情報を発信しながら受診率向上に取り組みます。

#### ② 協会けんぽ健診及び生活習慣病健診

協会けんぽ健診については、年々着実に受診者数は増加しています。引き続き当財団施設間で協調しながら事業者の方々の利便性を高め、受診率向上に貢献いたします。

生活習慣病健診については、その重要性についての啓蒙を続けながら、健診精度の向上と、有効な指導への要請に応えるべく体制を整備してまいります。特に、特定健診の開始により保険者に求められている受診率の向上には配偶者健診の充実が欠かせませんが、当財団では地域の健康保険組合の皆様とともに20年以上に亘り独自の仕組みで主婦健診(ヘルスチェックママ)に取り組んでまいりました。そのノウハウを発展継承して地域の健康増進に努めつつ、新健診制度の確立にお役に立つよう尽力いたします。

#### ③ 人間ドック健診

人間ドックは主として施設での外来健診となります。全施設が画像系健診機器のデジタル化を終えておりますが、更に設備・機器のバージョンアップに

努めます。ご契約頂いている各企業・団体・健康保険組合・共済組合様、それぞれのニーズに沿った精度の高い健診を提供できるよう努めてまいります。

#### ④ P E T 健診

北九州エリア最初の P E T 健診施設として P E T 健診センターを開設以来 19 期目となりますが、地域での認知度も向上し連携医療機関様からのご依頼である保険診療を中心に需要は安定しております。最新の P E T - C T 機による「がん」の早期発見に努め、より精度の高い健診を目指します。今後も地域社会から「がん」を撲滅するために貢献すべく鋭意努力を継続いたします。

### (2) 環境測定

職場の作業環境の健全性維持は、勤労者の健康保持に欠くことのできないものであり、労働行政および労働衛生関係団体と連携を図りながら、職場環境の改善と維持に貢献できるよう取り組んでおります。平成 21 年度からは北九州と大分に独立していた環境測定部門の一体運営を行っており、両施設の強みを活かしながら全国でもトップクラスとの評価を受けている高い測定・分析精度を維持しつつ、職員の更なるスキルアップ、分析機器等の拡充を計画的に進めてまいります。

また、当財団の環境測定部門は単に測定・分析業務にとどまらず、永年の業務遂行の過程でスキルを蓄積してきた労働衛生コンサルタント業務も行っており、作業環境管理・作業管理・健康管理業務全般をご支援できるエキスパートとして地域社会への貢献を目指しております。

平成 24 年に全国で 6 番目、大阪以西では初の「作業環境測定士登録講習機関」の登録を取得し、第 1 種及び第 2 種作業環境測定士講習を実施するとともに、有機溶剤・特定化学物質等の「作業主任者技能講習」等の講習事業を強化してまいりました。又、当年度開講しました「一般建築物石綿含有調査者講習」を次年度も継続開催を図ると共に、5 年度は大分環境測定センターにおいても講習事業をスタートさせ、西日本地区の労働衛生関係スタッフのレベルアップに寄与してまいります。

以上

1.事業計画  
(公益事業)

区 分		令和4年度実績見込(注1)	令和5年度計画	備考
(1)産業保健事業	実施事業場	741	760	
(2)健康情報発信	健康情報誌	195,000	195,000	発行部数

(収益事業)

区 分		令和4年度実績見込(注1)		令和5年度計画		備考
(1)健康診断	一 般 健 診	214,672	42.6%	219,404	41.8%	人員
	協会けんぽ健診	112,331	22.3%	113,583	21.7%	〃
	生活習慣病健診	47,541	9.4%	45,872	8.7%	〃
	ド ッ ク 健 診	26,650	5.3%	25,948	4.9%	〃
	P E T 健 診	4,458	0.9%	4,516	0.9%	〃
	付加健診(注)	(260,740)		(212,972)		件数
	特定・住民健診	19,011	3.8%	29,015	5.5%	人員
	再検査・二次検査	1,010	0.2%	957	0.2%	〃
	特 殊 健 診	78,534	15.6%	85,048	16.2%	〃
	外 来 診 療 ( 注 )	(888)		(930)		〃
合 計		504,207	100%	524,343	100%	延べ受診人員(注2)
(2)環境測定	作 業 環 境	11,057	34.3%	11,615	35.7%	件数
	煙 道 ガ ス	547	1.7%	740	2.3%	〃
	石 綿	3,275	10.2%	3,690	11.3%	〃
	そ の 他	17,375	53.9%	16,535	50.8%	〃
	合 計		32,254	100%	32,580	100%

(注1): 令和4年度実績見込は、令和5年1月迄の実績に基づき推計により算出。

(注2): 健康診断合計には、( )内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、協会健診については付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

## 2.収益事業内訳

### (1)健康診断

区分	科目名	令和4年度実績見込	令和5年度計画	備考
一般健診	定期①	149,139	157,478	
	定期②	13,878	13,158	
	特定業務	43,084	41,248	
	雇入時健診	8,571	7,520	
	小計(一般健診)	214,672	219,404	
協会けんぽ健診	一般健診	91,218	92,709	
	付加健診	2,372	2,361	
	乳がん	6,940	6,724	
	子宮がん	9,735	9,977	
	肝炎ウイルス検査	2,066	1,812	
	小計(協会けんぽ健診)	112,331	113,583	
生活習慣病健診	生活習慣病	41,978	45,872	
	指定健診	5,383	0	
	ヘルスチェックママ	180	0	
	小計(生活習慣病健診)	47,541	45,872	
ドック健診	日帰り人間ドック	25,615	25,195	
	日帰り人間ドック(配偶者)	206	0	
	一泊ドック	829	753	
	小計(ドック健診)	26,650	25,948	
PET健診	PET健診	4,458	4,516	
	小計(PET健診)	4,458	4,516	
付加検査	付加検査(オプション)	260,740	212,972	
	小計(付加検査)	260,740	212,972	
特定健診	特定・住民健診	19,011	29,015	
	小計(特定健診)	19,011	29,015	
	再検・二次検査	1,010	957	
	小計(再検・二次検査)	1,010	957	
特殊健診	じん肺	7,752	7,564	
	歯牙	1,273	1,295	
	鉛	846	826	
	有機溶剤	16,327	18,450	
	特定化学物質	22,943	27,031	
	高気圧	444	152	
	電離放射線	3,253	1,235	
	石綿	2,632	2,506	
	その他特殊	22,768	25,750	
	特殊二次	54	29	
	管理手帳	242	210	
	小計(特殊健診)	78,534	85,048	
外来	外来	888	930	
	小計(外来)	888	930	

## (2)環境測定

科 目		令和4年度実績見込	令和5年度計画	備考
作業環境	粉 じ ん	2,085	2,260	
	特定化学物質	3,273	3,273	
	金 属	664	830	
	有機溶剤	2,994	2,991	
	騒 音	936	1,026	
	照 度	10	24	
	事務所管理	11	35	
	局所排気定期点検	630	643	
	作業環境診断	0	10	
	そ の 他	454	523	
小 計		11,057	11,615	
煙道排ガス	煤 じ ん	160	235	
	硫黄酸化物	130	238	
	窒素酸化物	165	232	
	そ の 他	92	35	
	小 計	547	740	
その他	排 水	479	529	
	飲料水	66	81	
	産業廃棄物	2	0	
	そ の 他	5,778	4,925	
	(特検)鉛	0	0	
	(特検)有機溶剤	11,050	11,000	
	石 綿	3,275	3,690	
小 計		20,650	20,225	
合 計		32,254	32,580	